
おぺれべけべけ

宇ノ鹿 すい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おぺれべけべけ

【Nコード】

N9286M

【作者名】

宇ノ鹿 すい

【あらすじ】

おぺれべけべけ、とあなたも言ってみよう。大変だけど。

上司と二人でこれから先の展望のことを話し合っていた。

「うーん、やっぱりこれじゃあねえ」

と嘆息する上司。仕事はうまいことしていない状態が今。僕も

「うーん、だめですねえ」と正直に言ってしまう。部長はため息をつく。

「連結稼働方式なんて複雑なシステムを採用したのがそもそも間違いでね、本来なら単純な方で企画を進める予定だったんだよ。それだってのに無理矢理に押し込もうとするあの馬鹿が…」

と、そこまで言って部長は口をつぐんだ。善良なところが彼にはあって、人の悪口をすすんで言わないところがある。まあいい性格をしている。

僕は相変わらず

「うーん、だめですねえ」

とだけしか言わない。意見が無いのである。そもそも、部長の愚痴を聞くために僕はここに存在していたりもする。部長は貧乏ゆすりをしながら、デスクに頭を突っ伏する。

「うーん、どうしたものか。連結稼働方式が悪いんだ。連結稼働方式が……」

悩ましい中年男性。両手で頭を抱え込み、「どうしたものかあ、どうしたものかあ」と繰り返している彼。

僕が再び、

「うーん、だめですねえ」

と言おうか言わまいか考えた時に、事態が変化した。

[illegible]

何の音かという、電話の音である。家の会社の電話の音はちょっと変だ。部長は突っ伏していた顔をデスクから思い切り持ち上げ、そして大きくため息をつく、こう言った。

「おぺれべけべけ！」

僕は目を丸くした。目を丸くして、そんな叫び声を上げた部長が受話器を手取るのをまじまじと見つめるが、部長は作った微笑みを次の時点では浮かべていた。

…お、おぺれべけべけ、だと……？

一部部長は何を考えていたのだろうか。さつきまで連結稼働方式の話をしていたというのに、何ゆえ電話が鳴ったとたんにおペレベ
けべけ等と言う全く意味不明な言葉を走るに部長は至ったのである
うか。気がおかしくなったとは思えない。

部長はしばらく何かしらの話をしていたが、その内容は僕の頭に

ちっとも入りこんだりしない。ずっと、おぺれべけべけの意味を考えてばかりいた。

合言葉か。宇宙人の言葉か。外国語か。部長が考えた困った時の叫びなのか。それとももっと怪奇な何かなのか。：未知が広がるばかりで、道は作られない。僕は迷宮に叩き落された。部長におぺれべけべけの悪夢へと叩き落されたのである。

部長は受話器を置くと、作っていた微笑みを止めて、また頭から地面に突っ伏してしまった。僕はそんな部長が次に何時「おぺれべけべけ」と言うのかと想像してしまうのだが、しかし部長は何も言わずデスクに突っ伏している。

そして次の日、部長は死んだ。

葬式が行われた日、彼の妻が涙を流しながら、最期に「おぺれべけべけ」と締めくくった。笑ってはいけない空気の中で発されたその言葉。不謹慎ながらも、誰もが噴き出した。葬式の会場は静まり返っていたというのに、一転、笑いの渦に巻き込まれた。

そして次の日、部長の妻は死んだ。

僕はおぺれべけべけという言葉を呪った。だがそれ以上に恐ろしいのは、ホラーというジャンルの展開から言って最終的に主人公が死ぬ可能性は高い。オチとして使えるから。そういう展開を作者が講じることが僕にとっては一番怖い。何時僕が「おぺれべけべけ」

とのたまわって殺されぬとも限らない。ああ、困ったなあ……

そして次の日、僕は死んだ。

(後書き)

ホラーなのかコメディなのか一分ほど悩んだ結果ホラーになりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9286m/>

おペレベケベケ

2011年11月13日19時57分発行